木材輸入の状況について
（2023年３月実績）

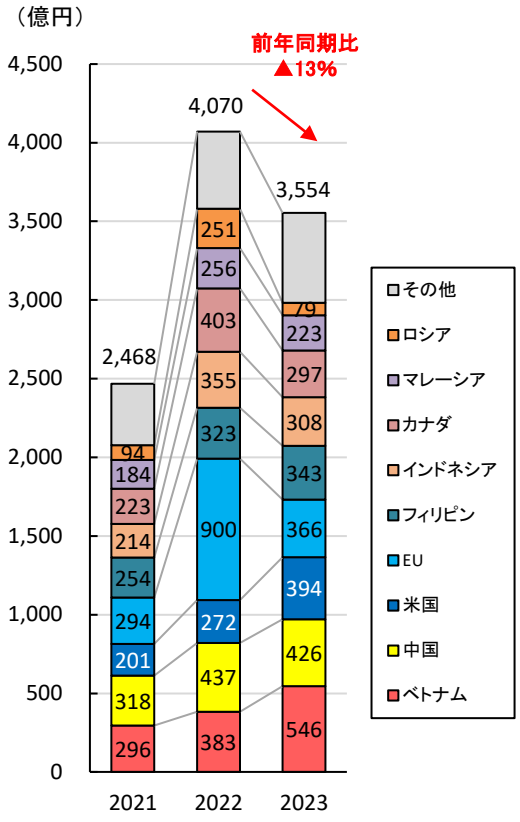
令和5年4月
林野庁　木材貿易対策室

1. 2023年3月までの木材輸入実績（累計）

○ 2023年3月の木材輸入額累計は、前年同期比▲13%減の3,554億円。

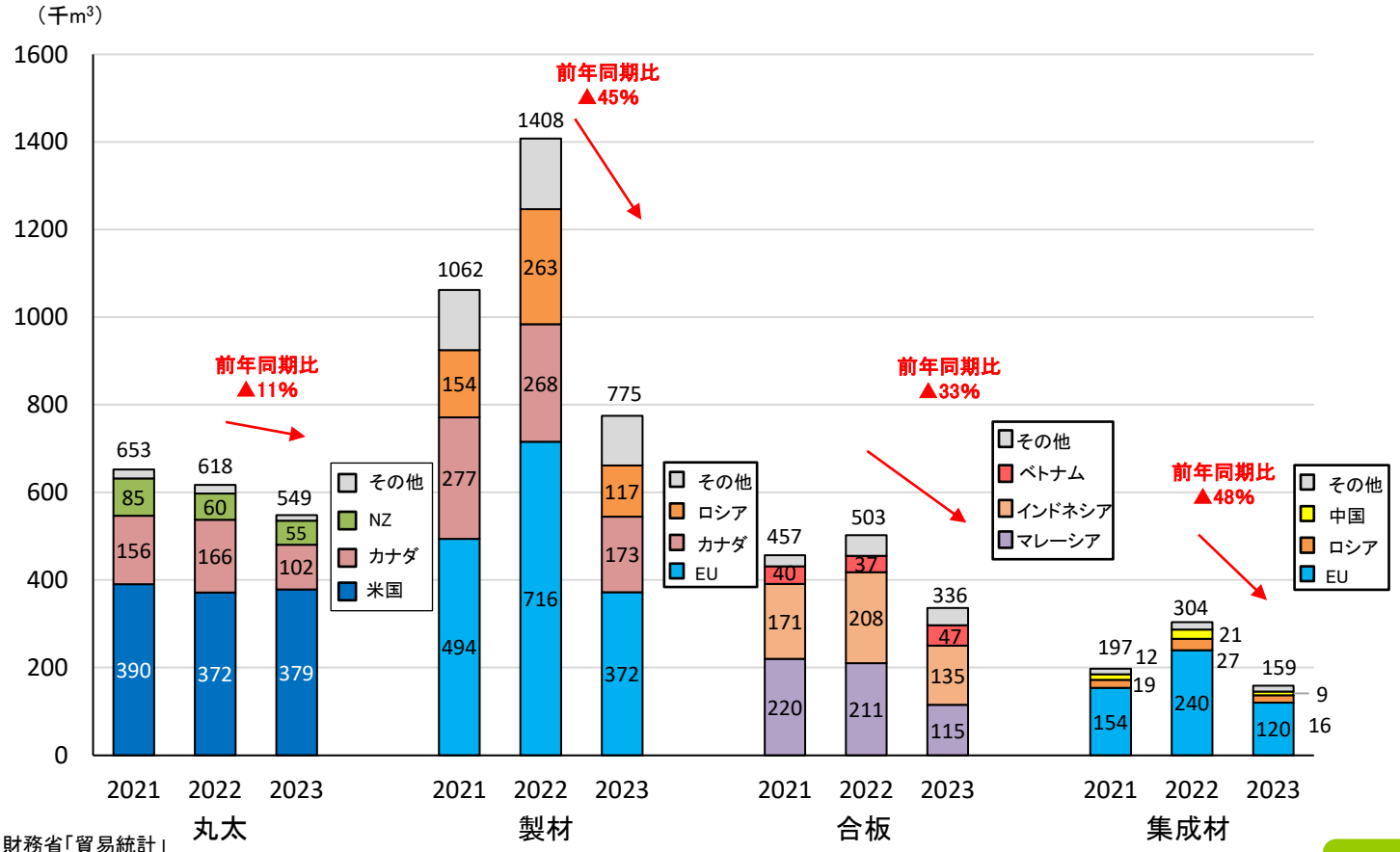
○ 品目別の輸入量を見ると、丸太が前年同期比▲11%減、製材が同▲45%減、合板が同▲33%減、集成材が同▲48%減。

○ なお、2021年同期と比較すると、2023年1～3月の木材輸入額累計は同＋44%増。品目別輸入量では、丸太が同▲16%減、製材が同▲27%減、合板が同▲26%減、集成材が同▲20%減。



資料：財務省「貿易統計」

木材輸入額の推移
（2021～2023年における1～3月累計）



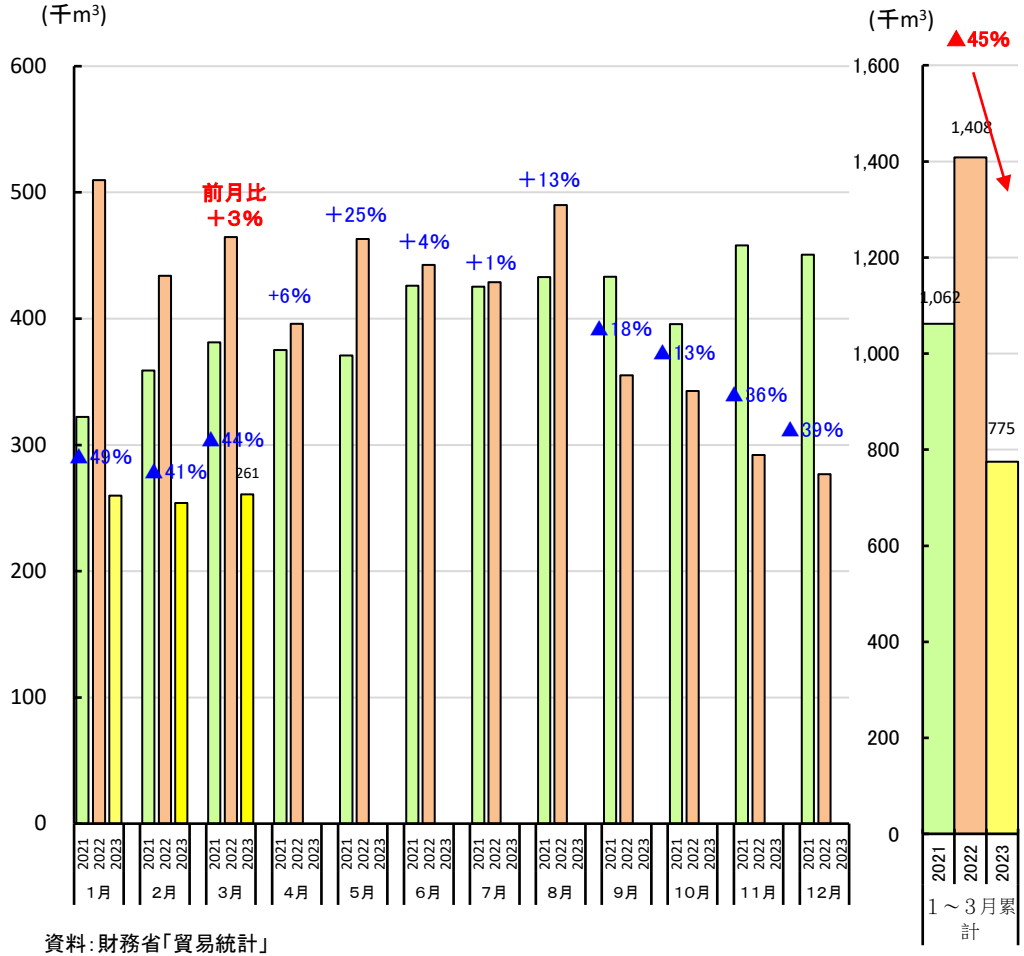
資料：財務省「貿易統計」

品目別木材輸入量の推移
（2021～2023年における1～3月累計）

2. 製材・集成材の月別輸入量

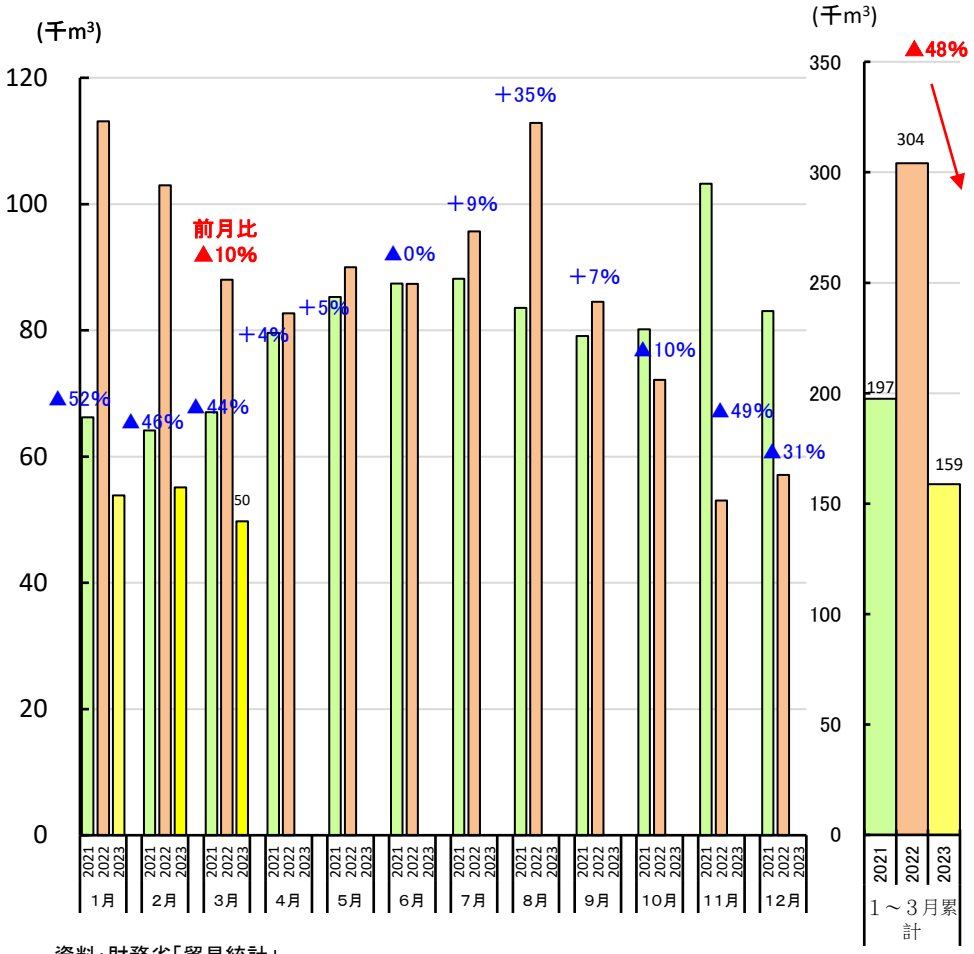
○ 2023年3月の製材輸入量は、前月比＋3%増の26万m³（前年同月比▲44%減、2021年同月比▲32%減）。1月～3月の累計は、前年同期比▲45%減（2021年同期比▲27%減）の78万m³。

○ 同月の集成材輸入量は、前月比▲10%減の5.0万m³（前年同月比▲44%減、2021年同月比▲26%減）。1月～3月の累計は、前年同期比▲48%減（2021年同期比▲20%減）の16万m³。



資料：財務省「貿易統計」

製材の輸入量



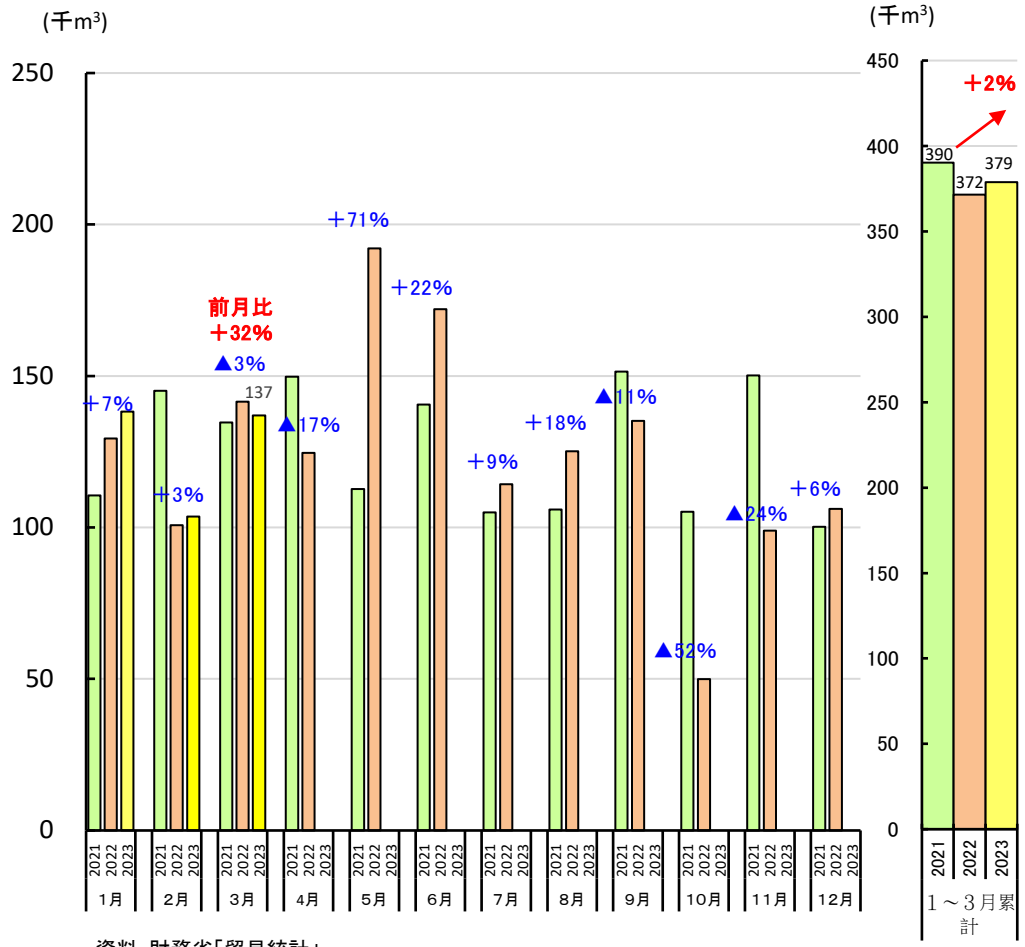
資料：財務省「貿易統計」

集成材の輸入量

3. 北米からの月別輸入量

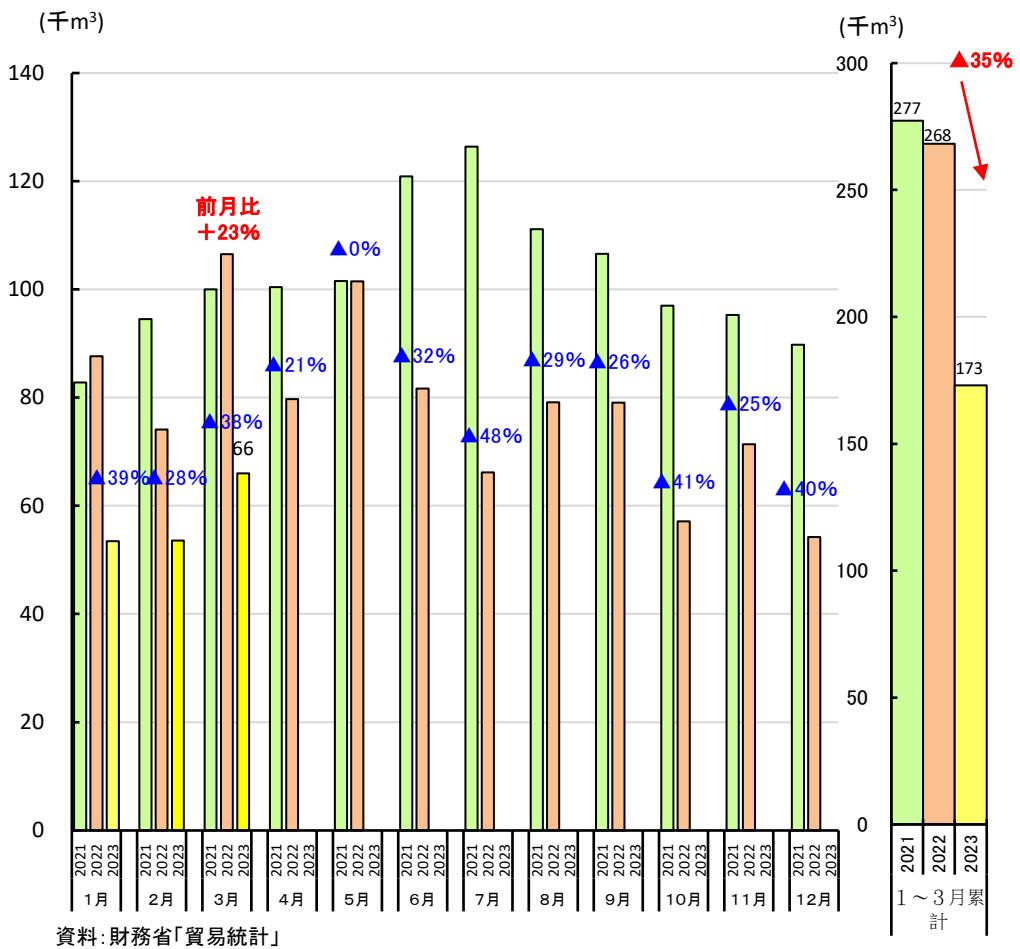
○ 2023年3月の米国からの丸太輸入量は、前月比＋32%増の14万m³（前年同月比▲3%減、2021年同月比＋2%増）。1月～3月の累計は、前年同期比＋2%増（2021年同期比▲3%減）の38万m³。

○ 同月のカナダからの製材輸入量は、前月比＋23%増の6.6万m³（前年同月比▲38%減、2021年同月比▲34%減）。1月～3月の累計は、前年同期比▲35%減（2021年同期比▲38%減）の17万m³。



資料：財務省「貿易統計」

米国からの丸太輸入量



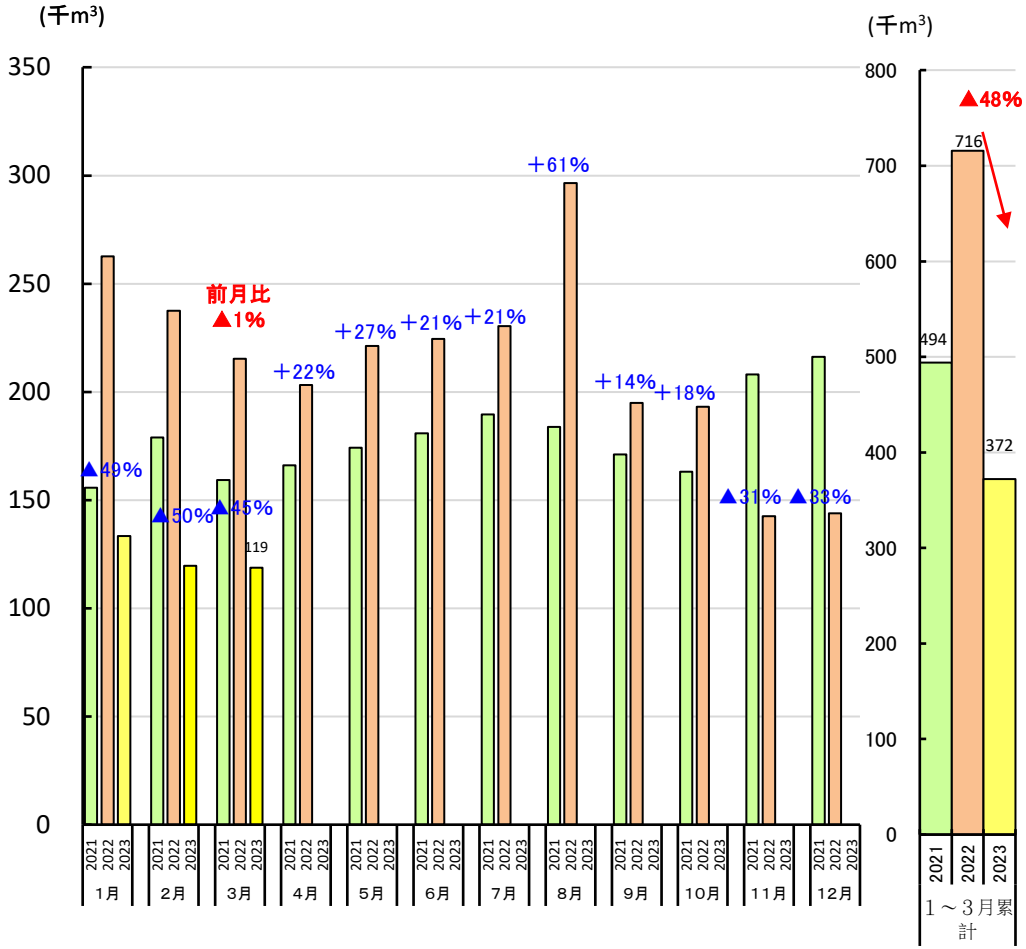
資料：財務省「貿易統計」

カナダからの製材輸入量

4. 欧州からの月別輸入量

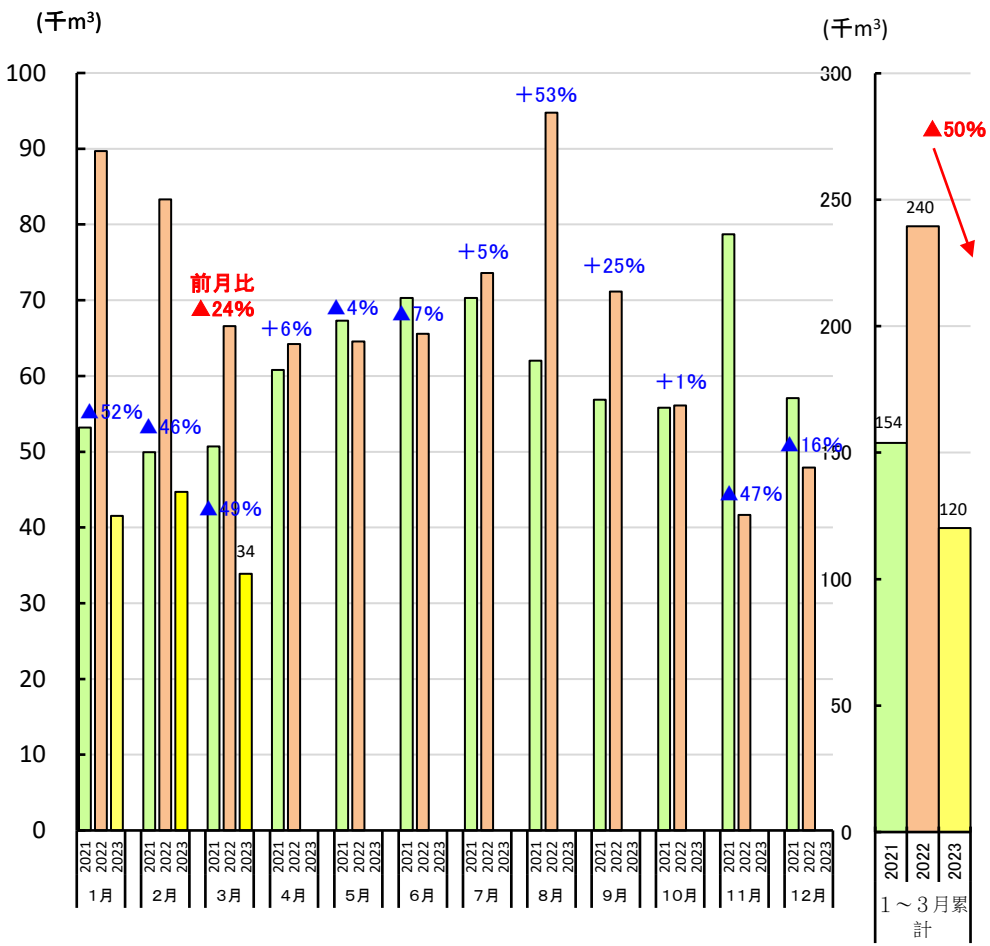
○ 2023年3月のEUからの製材輸入量は、前月比▲1%減の12万m³（前年同月比▲45%減、2021年同月比▲25%減）。1月～3月の累計は、前年同期比▲48%減（2021年同期比▲25%減）の37万m³。

○ 同月のEUからの集成材輸入量は、前月比▲24%減の3.4万m³（前年同月比▲49%減、2021年同月比▲33%減）。1月～3月の累計は、前年同期比▲50%減（2021年同期比▲22%減）の12万m³。



資料：財務省「貿易統計」

EUからの製材輸入量



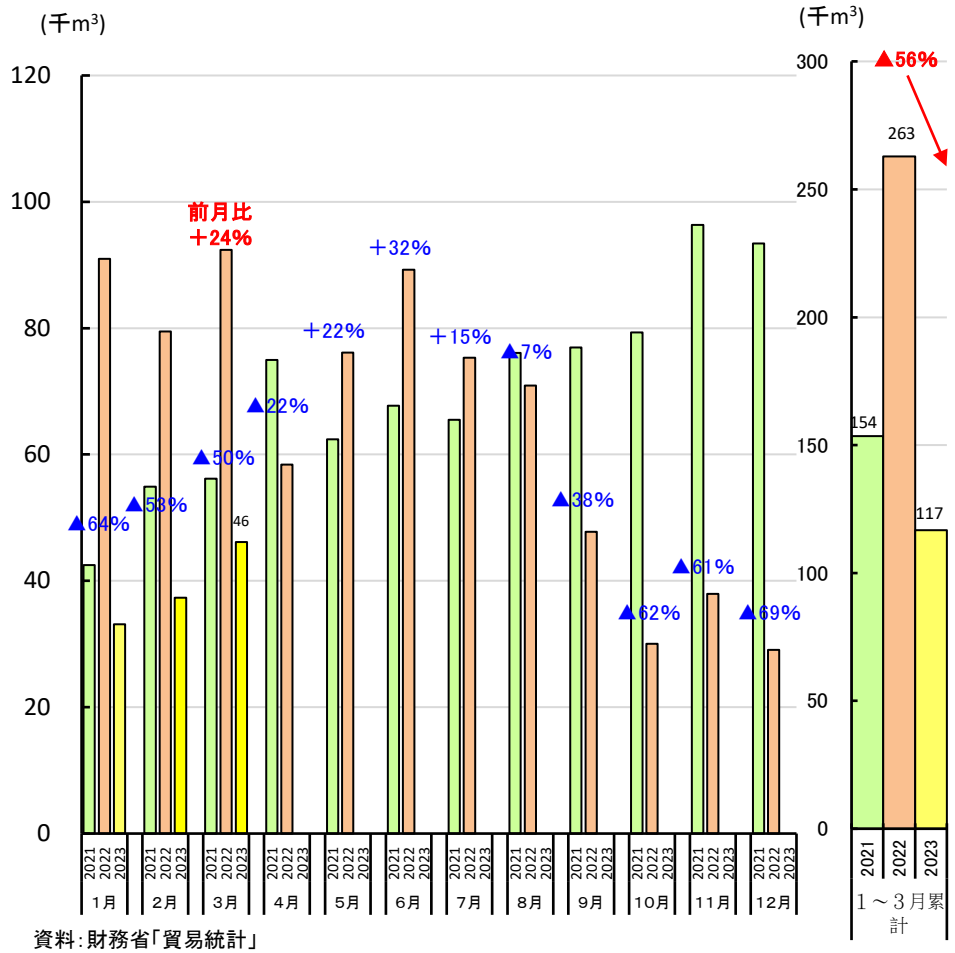
資料：財務省「貿易統計」

EUからの集成材輸入量

5. ロシアからの月別輸入量

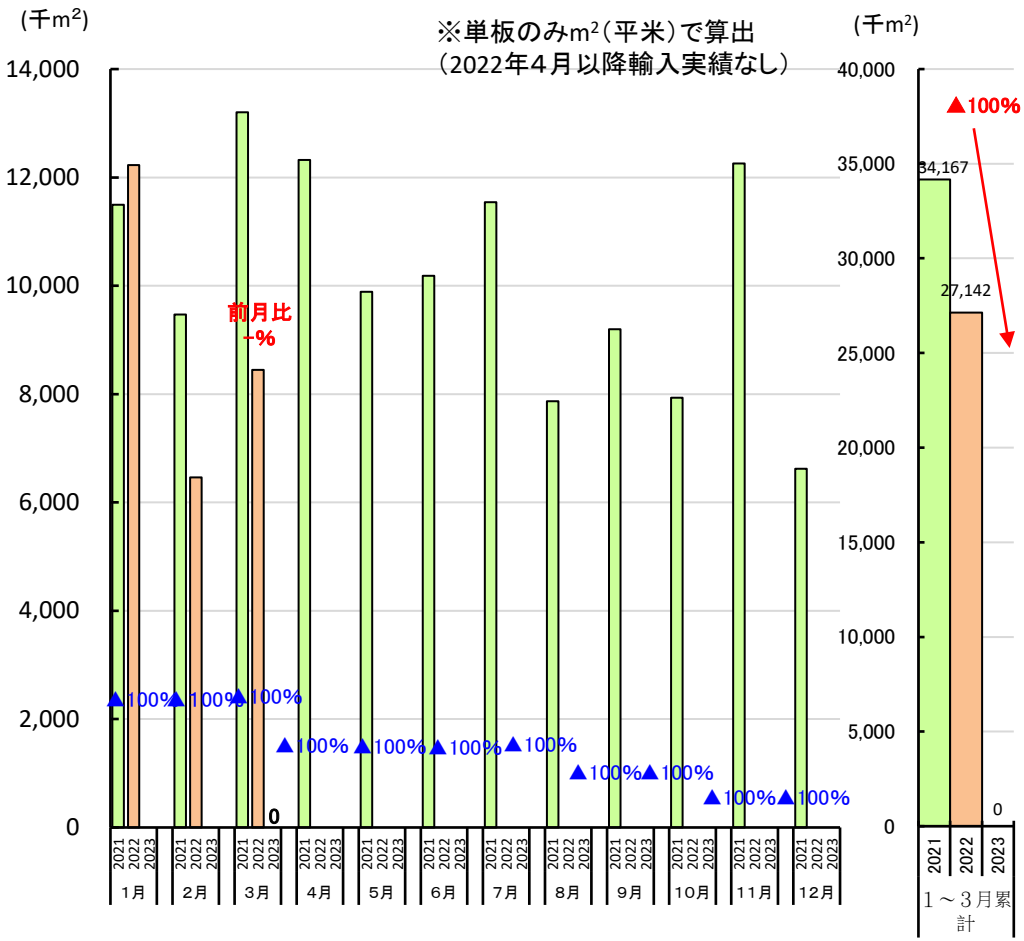
○ 2023年3月のロシアからの製材輸入量は、前月比＋24%増の4.6万m³（前年同月比▲50%減、2021年同月比▲18%減）。1月～3月の累計は、前年同期比▲56%減（2021年同期比▲24%減）の12万m³。

○ 同月のロシアからの単板輸入量は、輸入実績なし（前年同月比▲100%減、2021年同月比▲100%減）。1月～3月の累計は、前年同期比▲100%減（2021年同期比▲100%減）の輸入実績なし。



資料：財務省「貿易統計」

ロシアからの製材輸入量



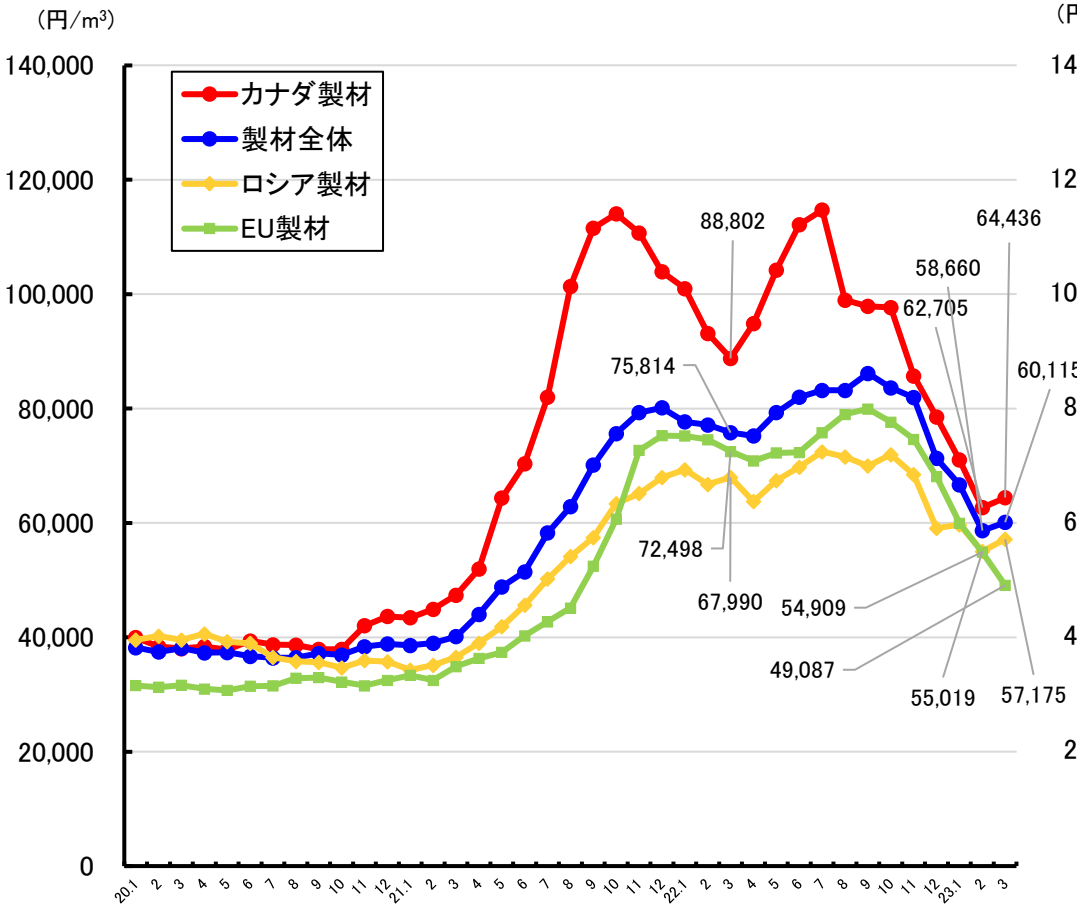
資料：財務省「貿易統計」

ロシアからの単板輸入量

6. 製材・構造用集成材の輸入平均単価

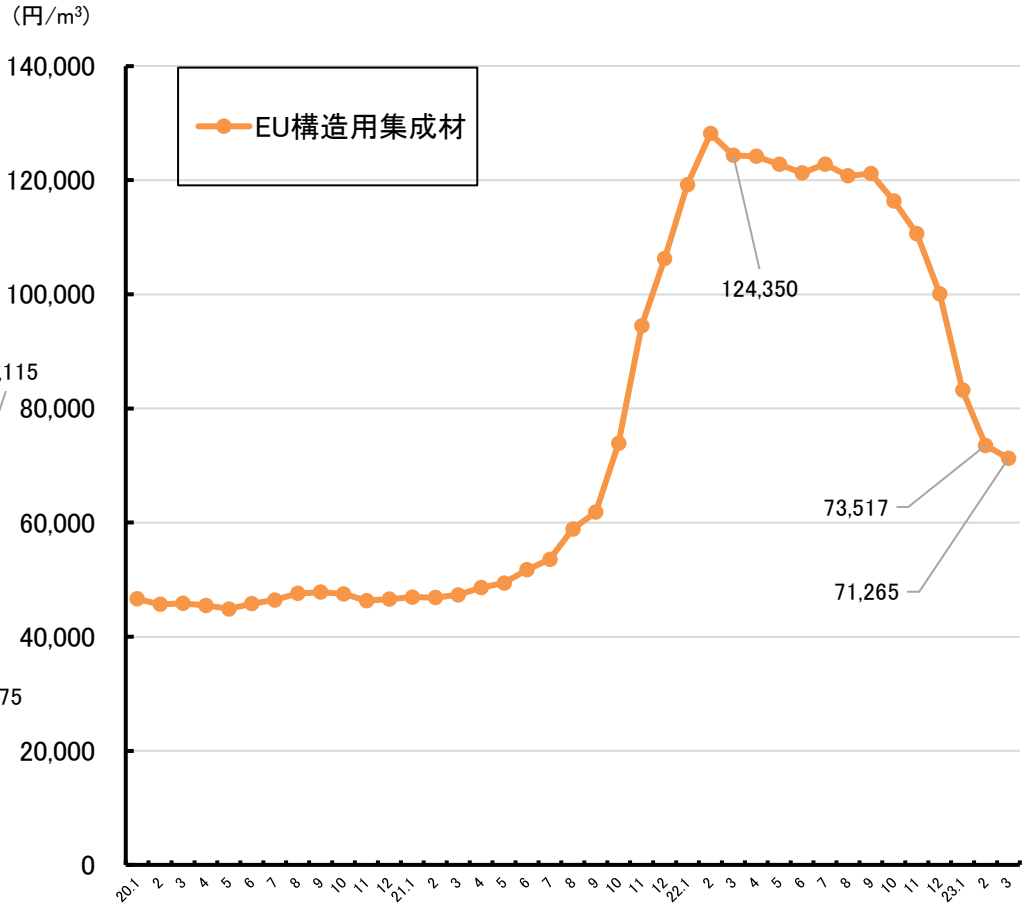
○ 2023年3月の製材輸入平均単価（総輸入額／総輸入量）は、前月比＋2%増の60,115円/m³（前年同月比▲21%減）。うち、カナダの製材は、前月比＋3%増の64,436円/m³（前年同月比▲27%減）、EUの製材は、前月比▲11%減の49,087円/m³（前年同月比▲32%減）、ロシアの製材は、前月比＋4%増の57,175円/m³（前年同月比▲16%減）。

○ 同月のEUからの構造用集成材輸入平均単価は、前月比▲3%減の71,265円/m³（前年同月比▲43%減）。



注：輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

製材の輸入平均単価



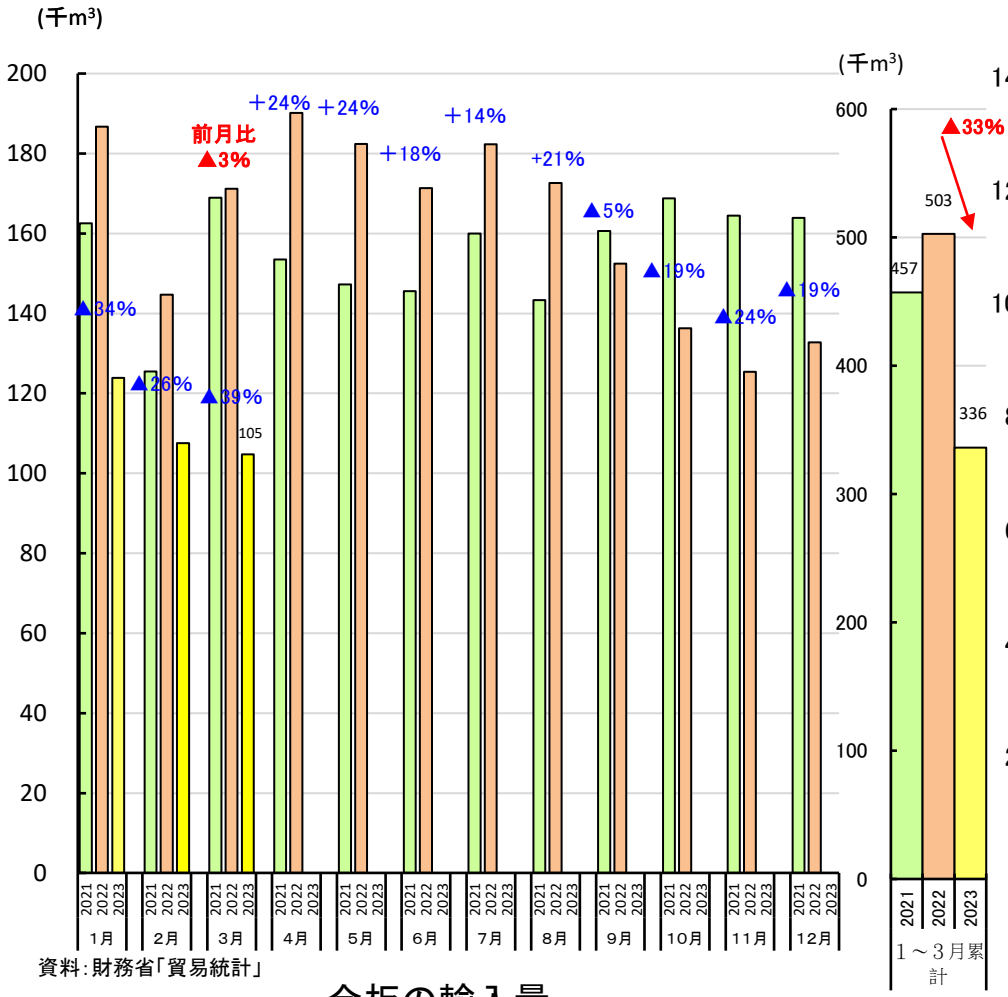
注：輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

構造用集成材の輸入平均単価

7. 合板の月別輸入量と価格

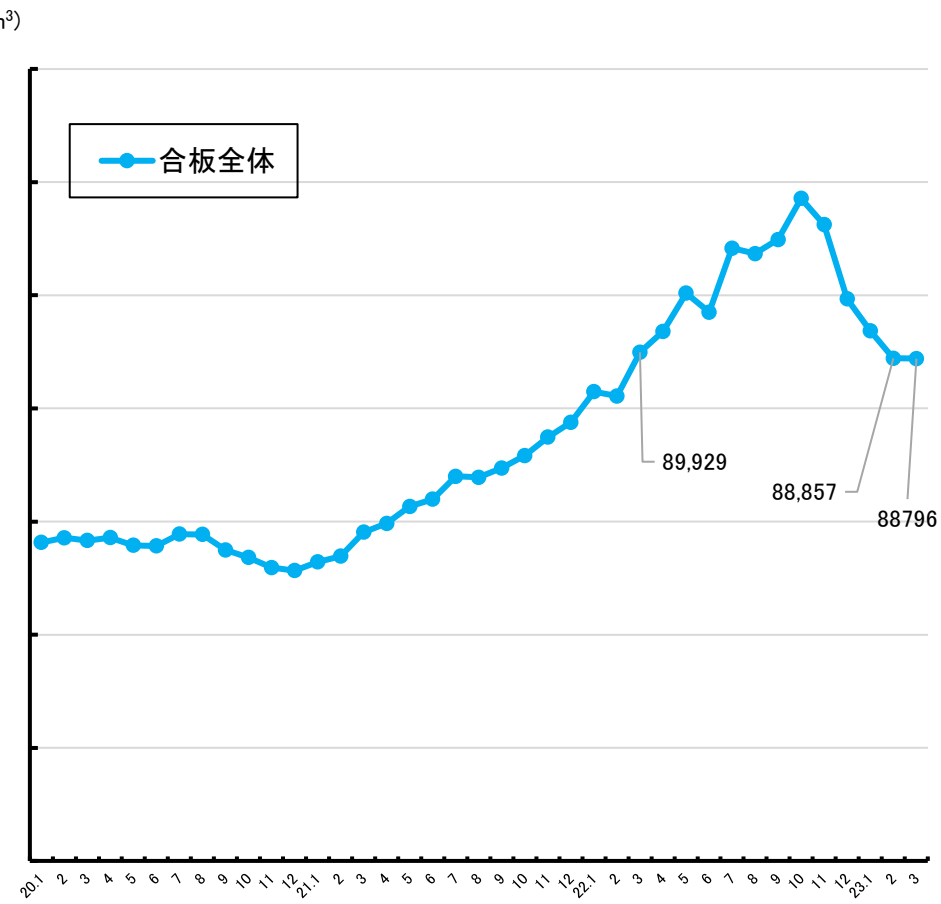
○ 2023年3月の合板輸入量は、前月比▲3%減の11万m³（前年同月比▲39%減、2021年同月比▲38%減）。1月～3月の累計は、前年同期比▲33%減（2021年同期比▲26%減）の34万m³。

○ 同月の合板輸入平均単価は、前月比▲0%減の88,796円/m³（前年同月比▲1%減）。



資料：財務省「貿易統計」

合板の輸入量



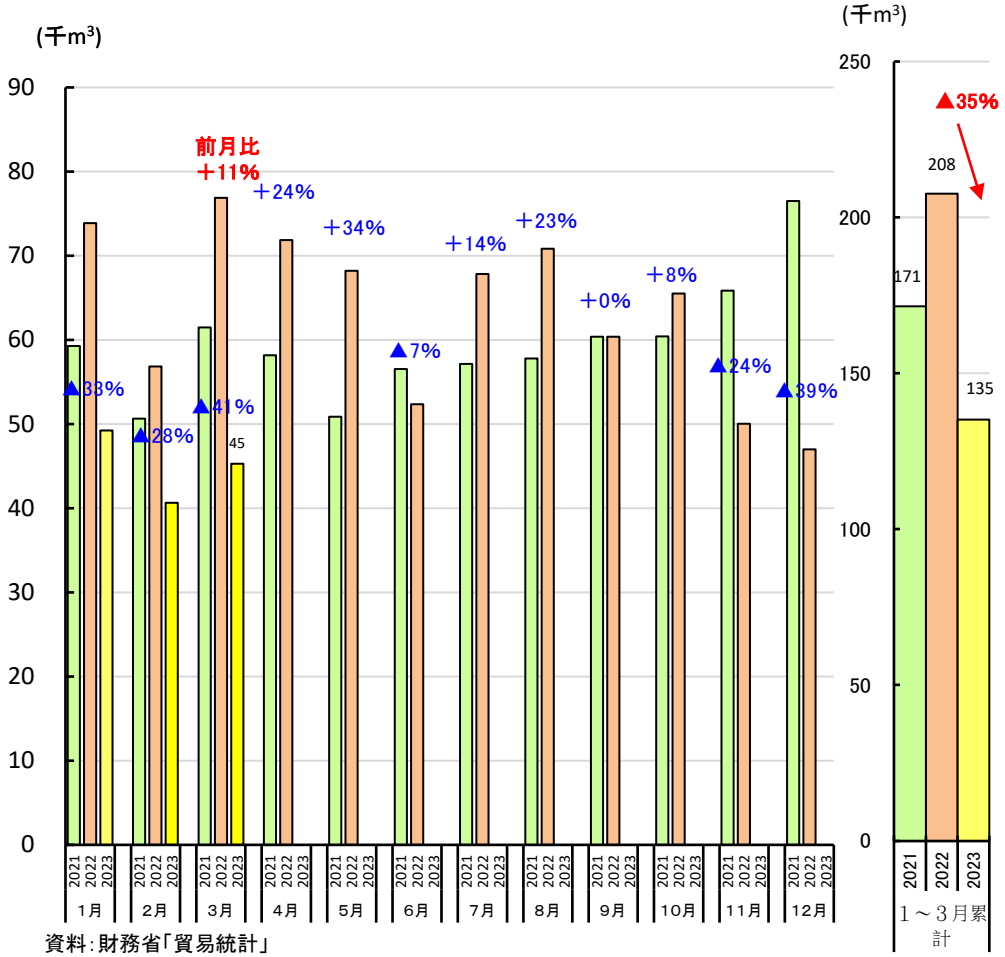
注：輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

合板の輸入平均単価

8. 東南アジアからの合板の月別輸入量

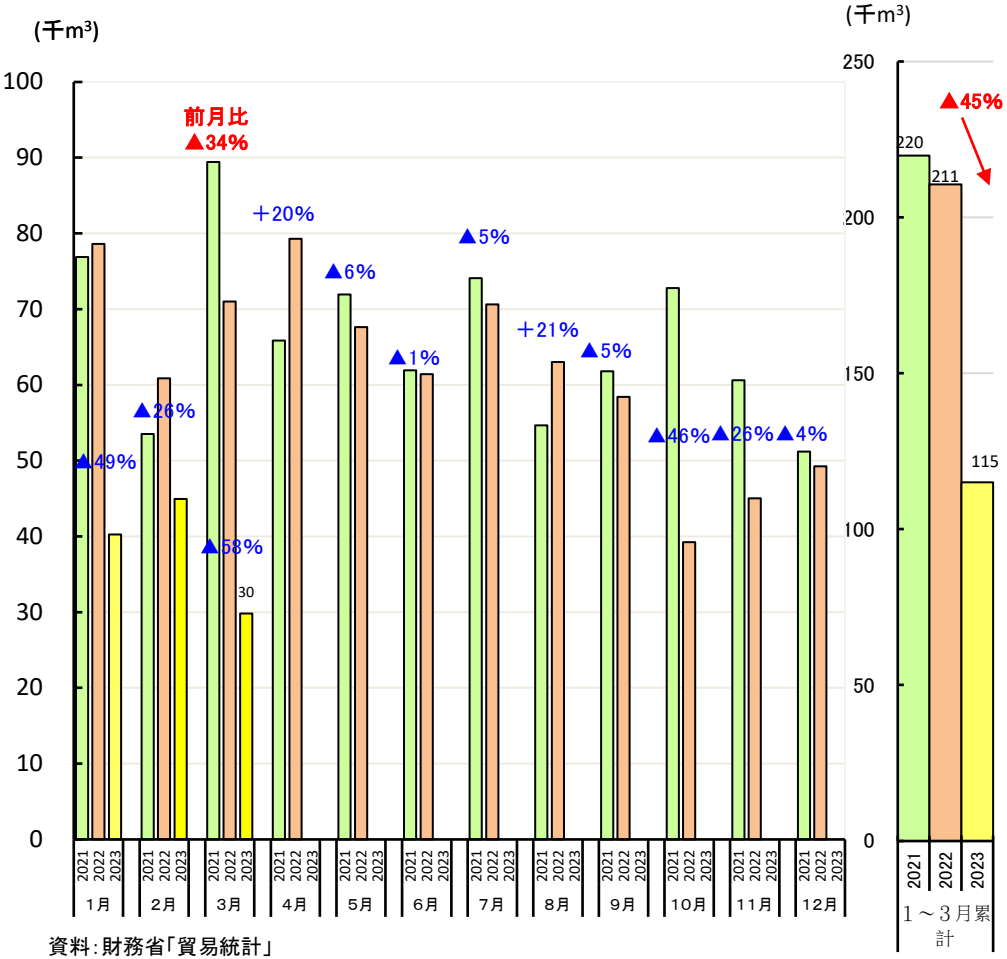
○ 2023年3月のインドネシアからの合板輸入量は、前月比＋11%増の4.5万m³（前年同月比▲41%減、2021年同月比▲26%減）。1月～3月の累計は、前年同期比▲35%減（2021年同期比▲21%減）の14万m³。

○ 同月のマレーシアからの合板輸入量は、前月比▲34%減の3.0万m³（前年同月比▲58%減、2021年同月比▲67%減）。1月～3月の累計は、前年同期比▲45%減（2021年同期比▲48%減）の12万m³。



資料：財務省「貿易統計」

インドネシアからの合板の輸入量



資料：財務省「貿易統計」

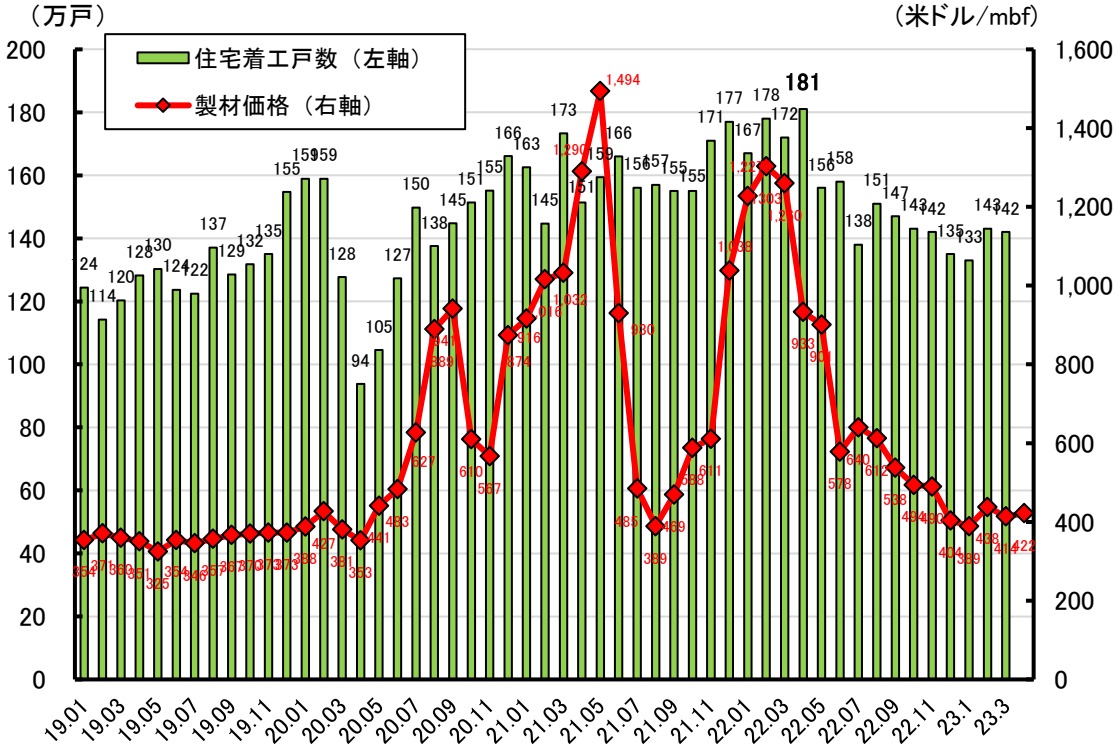
マレーシアからの合板の輸入量

（参考１）米国における木材価格の動向等

○　米国の住宅着工戸数（戸建て計）は、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年４月に急落した。その後、コロナ禍による在宅需要の増加と住宅ローンの低金利により、2020年５月から増加傾向が続き、2022年４月には181万戸（年率換算）を記録。2022年５月からは、住宅ローン金利が急騰したことにより、下落傾向が続いていたが、2023年３月は前月比▲１％減の142万戸となった。

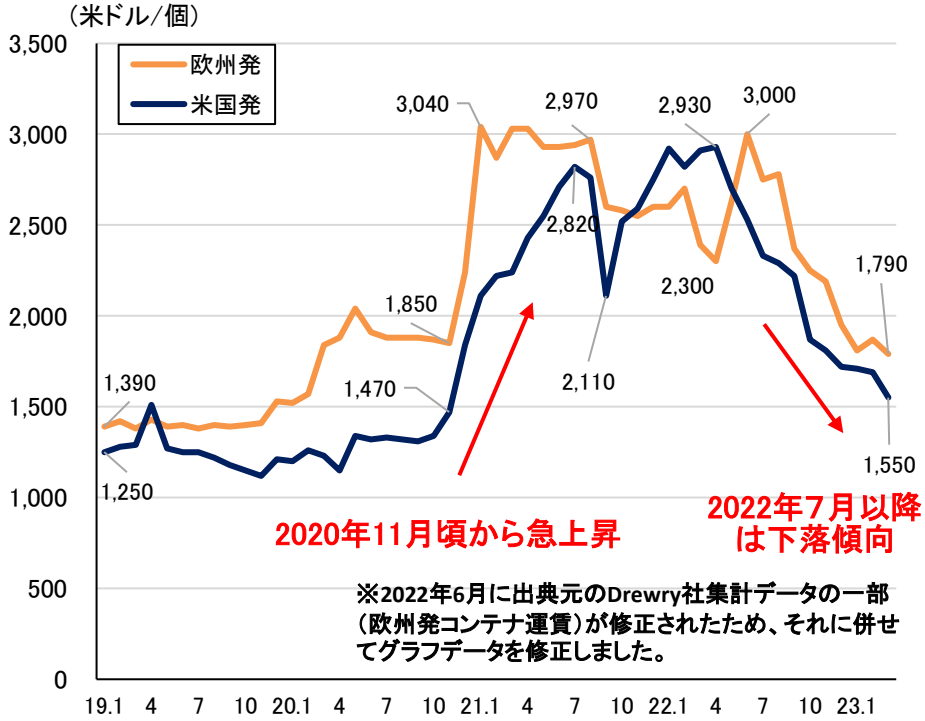
○　北米の木材価格は、2020年夏から急上昇。同秋に一旦下がったものの同冬から再び急上昇し、2021年５月には1,494ドル/mbfを記録。以後急落したが、同年９月以降再上昇し、2022年２月には1,303ドル/mbfを記録。その後再度下落し、2023年４月には422ドル/mbf（前月比＋２％増）となった。

○　世界的なコンテナ不足により、海上輸送運賃が急上昇。日本向けコンテナ運賃は、2020年１１月頃から急上昇し、その後は欧州発、米国発ともに高値を維持していたが、2022年７月以降は下落傾向が続いている。



資料：（住宅着工戸数）米国商務省「住宅着工統計」（季節調整済み、年率換算、戸建て計）
（製材価格）Random Lengths「Framing Lumber Composite Price」（月末価格、2022年６月以降は月中価格）

米国における住宅着工戸数と製材価格の推移



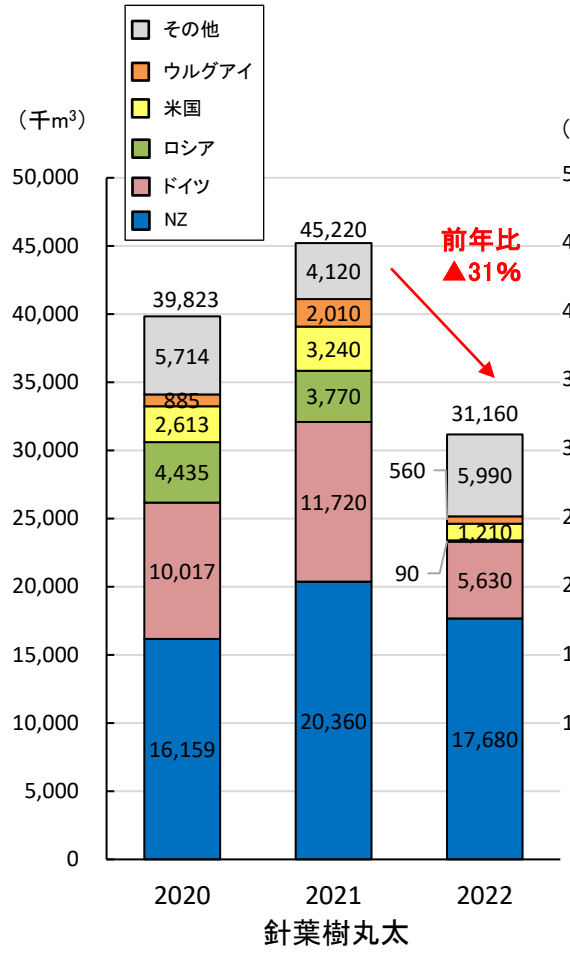
（注）　40ftコンテナ。「米国発」はLos Angeles発横浜着、「欧州発」はRotterdam発横浜着。
（出典）Drewry「Container Freight Rate Insight」
資料：　日本海事センター「主要航路コンテナ運賃動向」

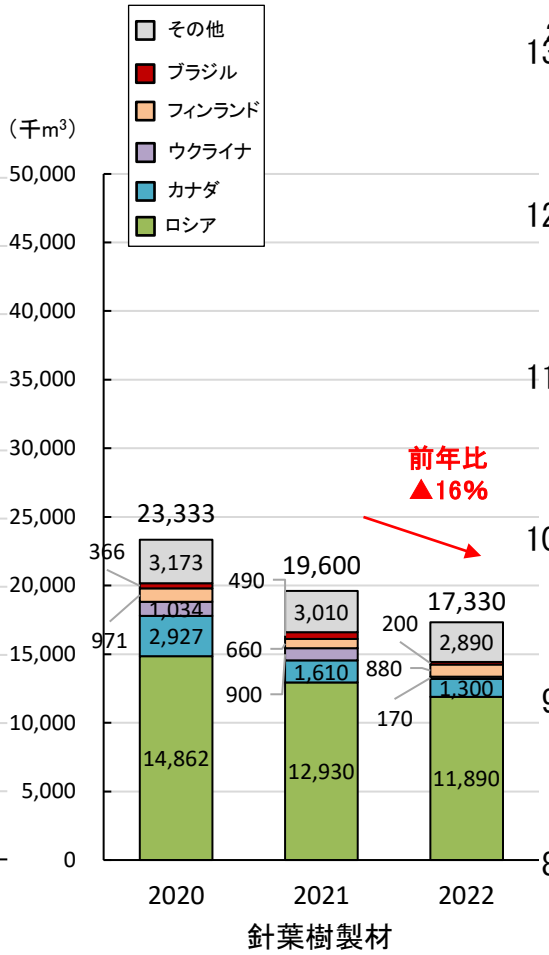
日本向けコンテナ運賃の推移

（参考2）欧州・中国における木材需要の動向

○ 2022年の中国におけける針葉樹丸太輸入量は、前年同期比▲31%減の3,116万m³。針葉樹製材輸入量は、前年同期比▲16%減の1,733万m³。輸入量減少の主な要因として、産地側の事情とともに、中国当局による新型コロナウイルス感染防止のためのロックダウン（都市封鎖）に伴う総需要量の後退が影響。

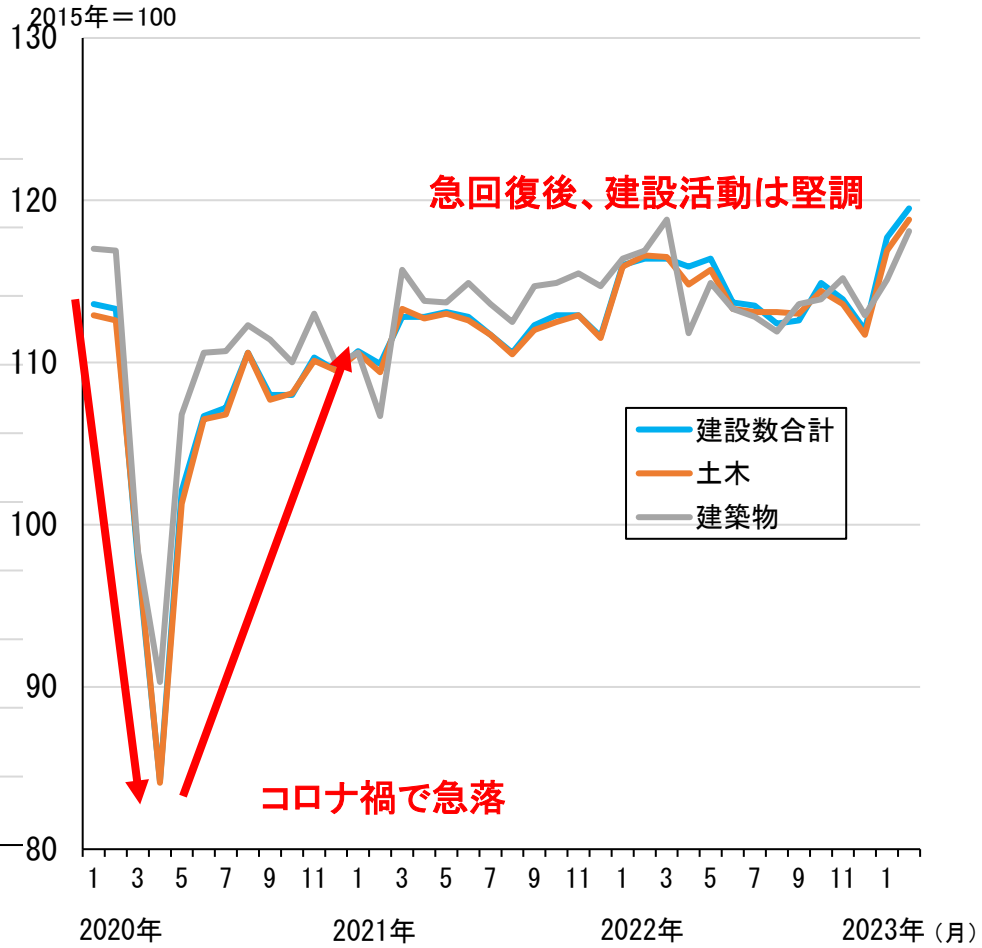
○ EUでは、コロナ禍により、一昨年春に建設活動が急激に低下したが、同年夏以降は回復して、以後、堅調に推移。





資料：ITTO（Tropical Timber Market Report, Vol.26 (3) (5)、Vol 27 (3) (4) ）

中国の木材輸入量（2020年～2022年）



資料：Eurostat（Production in construction – monthly data）

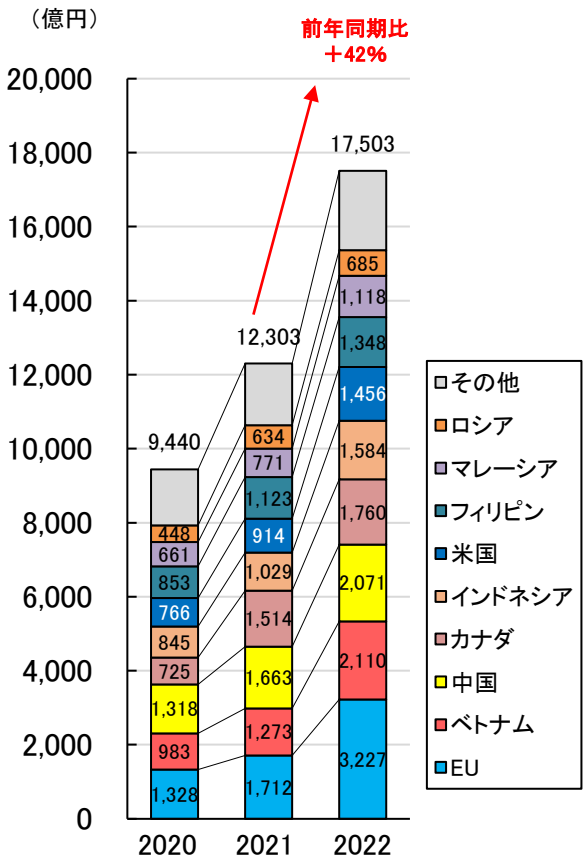
EUにおける建設活動水準（2015年比）

（参考3）2022年の木材輸入実績（累計）

○ 2022年1～12月の木材輸入額累計は、前年同期比＋42%増の1兆7,503億円。

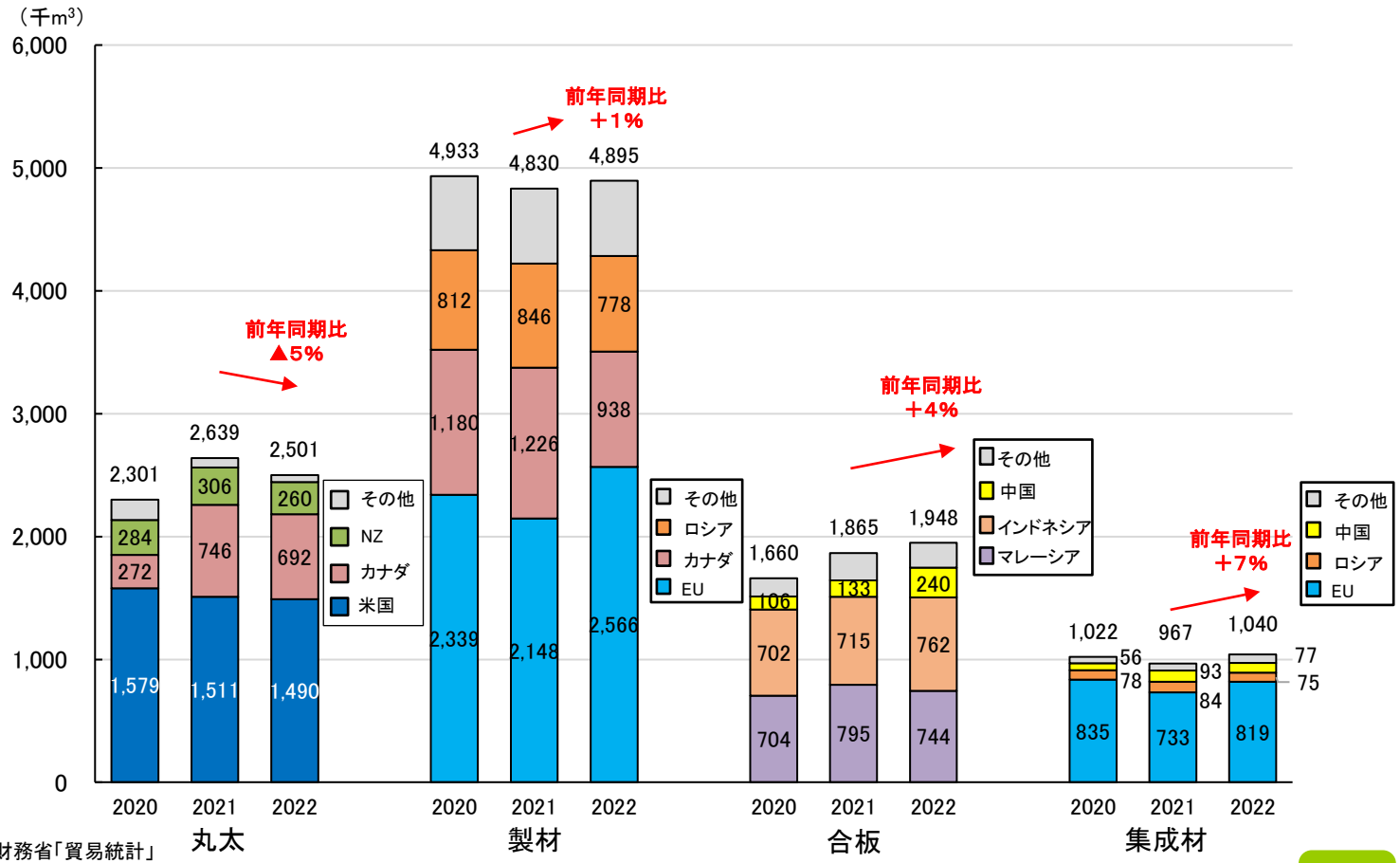
○ 品目別の輸入量を見ると、丸太が前年同期比▲5%減、製材が同＋1%増、合板が同＋4%増、集成材が同＋7%増。

○ なお、2020年同期と比較すると、2022年1～12月の木材輸入額累計は同＋85%増。品目別輸入量では、丸太が同＋9%増、製材が同▲1%減、合板が同＋17%増、集成材が同＋2%増。



資料：財務省「貿易統計」

木材輸入額の推移
（2020～2022年における1～12月累計）



資料：財務省「貿易統計」
2022年データは確々報値

品目別木材輸入量の推移
（2020～2022年における1～12月累計）